芽室町立上美生小学校

令和８年 10 月 30 日

学校便り 上美生

第７号

学校教育目標

○よく学びよく考える子ども（知）⇒自主・創造　○なかよくし助け合う子ども（徳）⇒友愛・協力

○進んで取り組みやりぬく子ども（体）⇒主体・根気　○いつも明るく元気な子ども（情）⇒明朗・快活

今年の秋は、突発的な気候の変化に見舞われることもなく、日ごとに最高気温が下がり日暮れが早まるなど、穏やかに冬へと向かう季節の歩みを感じます。紅葉した木々の葉によって、校内は自然と落ち葉の絨毯が敷かれてきているところです。この季節は、色について調べたくなる季節でもあります。イチョウの葉の色は、やや緑みを帯びた鮮やかな黄色である「黄蘗色（きはだいろ）」に近いそうです。日本古来の奥ゆかしい色名と、カタカナで表される現代の色彩が交わるように、本校もまた、子どもたち一人一人の多彩な個性が美しく調和する場でありたいと改めて感じています。

全国的には異常とも思える厳しい気象が続いた一年でしたが、私たちの暮らす十勝の大地は極端な天候に振り回されず、穏やかな移ろいを見せてくれました。周辺の畑を見渡すと、豊かな大地の恵みを受けて農作物が順調に実り、収穫の喜びにあふれています。この十勝の穏やかで力強い実りは、本校の子どもたちの健やかな成長とも見事に重なり合うものです。

学校生活の様々な場面でも、子どもたち自身の「心の色彩」が見事に表れています。静かに読書へ没頭し知識を吸収する「藍色」のような世界、友達と熱心に協力し合い課題に取り組む「オレンジ色」の情熱、困っている友達に気づき温かな声をかける「桃色」の思いやり。そしてイチョウのような鮮やかな「黄色」は、日々の学習の中で発揮される瑞々しい好奇心や探求心を象徴しているかのようです。

いよいよ１０月３１日（土）９時００分より、学習発表会を開催いたします。先日は子どもたちの練習を応援するため、白樺学園高等学校の生徒さん７人が本校を訪れてくれました。実際に練習に伴走しながらお兄さん・お姉さんの視点から立派なアドバイスをくれたり、優しく相談に乗ってくれたりしたことは、子どもたちにとって「もっと良いものにしたい！」というさらなる意欲と素晴らしい刺激につながる貴重な機会となりました。

こうした温かい支えも受けながら練習を重ねる子どもたちの「色」は、本番に向けて一層の輝きと力強さを増しています。人には誰もが生まれながらにして自分だけの「色」や「力」があり、それが日々の教育活動や仲間との関わりを通じて磨かれ、成長とともに深い輝きを放つようになります。それこそが子どもたちの無限の可能性であり、かけがえのない宝物です。

学校ではこの実り豊かな季節を最大限に生かし、今後も子どもたちの知的好奇心と健やかな成長を育む活動に教職員一同全力で尽くしてまいります。朝晩の冷え込みが一段と厳しくなってまいりましたので、保護者の皆様、地域の皆様、そして大切なお子様たちが体調を崩されないよう、十分な睡眠と栄養をとり、健康管理にもご留意ください。

１１月の行事予定

２（月）学習発表会の振替休日
３（火）文化の日
４（水）先手あいさつ運動
５（木）読み聞かせ
９（月）職員会議
１２（木）読み聞かせ
１３（金）まるごと給食
１９（木）総合防災訓練
２０（金）管内サークル合同研究大会
２３（月）勤労感謝の日
２６（木）読み聞かせ　クラブ
２８（土）芽室町青少年健全育成町民集会







白樺学園高等学校交流学習

１０月２３日に、白樺学園高等学校の生徒が上美生小学校に来てくれました。白樺の生徒との交流は今回で２回目になります。月末にひかえている、学習発表会の練習を見ていただき、アドバイスをいただきました。年齢の近い高校生ならではのアドバイスで、上美生小学校の子ども達は更に発表への意欲を高めることができました。

この日は高校生と一緒に給食を食べました。普段あまり触れ合う機会の少ない高校生と充実した一日を過ごすことができました。

後期児童会総会

１０月１５日（木）に後期児童会の総会を行いました。よりよい学校生活のためにそれぞれ計画したことをこれから実行していきます。

児童総会では、それぞれの委員会から計画が報告されました。質問や意見を積極的に発言するなどして、活発な総会になりました。とても立派です。

児童会が中心になり、みんなで協力して更に明るく楽しい上美生小学校を作ってほしいと思います。後期の活動も期待しています。

令和８年度全国学力・学習状況調査について

１　できている点

国語

・情報の基本的な整理と選択

「休み時間の過ごし方」の動画構成案において適切な構成を選択する設問ができている。

文章の特徴（筆者の経験や心の動きを独自の視点で書いていること）を捉える力の正答率が高い。

算数

・基本的なデータの読み取り

帯グラフからおよその割合を読み取る問題は正答率が高い。

二次元表から条件に合う数値を見つけるなど提示された資料から必要な情報を抽出する基本的な技能が身についている。

２　課題となる点

国語

・引用のルールに基づいた記述

提示された情報から「本の題名」と「本文の内容」を正確に抜き出し、かぎかっこを用いて１４０字以内で書くという複合的な記述問題の正答率が低い。

・自分の経験と結びつけた考えのまとめ

文章を読んで理解したことに基づき、自分の経験と結びつけて書く記述問題ができない。

算数

・概数の処理

「千の位までの概数」にする際に、どの位に注目して四捨五入すべきか（百の位を見る）というルールが定着していない。

・割合の概念理解

基準量、比較量、割合の関係を捉え、１００％（全体）の量を求める立式に課題がる。

３　今後の方策

国語

・文章を繰り返し読んだり友達と話し合ったりする活動を大切にして、理解したことを「自分事」として捉え直しそれを記述する活動を多く取り入れる。

算数

・キュビナの学習履歴に基づき学び直しの機会を多く設ける。

・言葉の式だけでなく、数直線や関係図を用いて問題に取り組む機会を多く設ける。

※国語、算数共に研修部と連携して、授業改善に取り組む。

新しい公務補が着任しました



中村（なかむら）　清人（きよと）　さん

１０月より公務補として着任いたしました中村清人（なかむらきよと）です。

上美生小学校の自然豊かな環境と、子どもたちの元気なあいさつに、毎日素敵な気持ちをもらっています。朝の開錠や校舎内外の見回り、点検や整備などを通して、子どもたちが安全に、気持ちよく過ごせる学校づくりをお手伝いしてまいります。まだ不慣れなこともありますが、一日も早く学校に慣れるよう努めます。お見かけの際はどうぞ気軽にお声がけください。

よろしくお願いいたします。

白樺の生徒との交流学習







